

・中東での MERS コロナウイルスの流行

7月も中東各地で MERS コロナウイルスの患者が報告されています。サウジアラビアでは首都のリヤドなどで9人の患者が発生し、7月末までに患者数は70人になりました(WHO Global Alert and Response 2013-7-5,7,13,18,21)。また、UAEでも7月にアブダビの医療機関などで4人の患者が確認されています(WHO GAR 2013-7-18)。この結果、7月25日時点で全世界の MERS 患者数は90人となり、うち45人が死亡しました。最近では軽症や無症状の患者も確認されており、今後、致死率が低下することが予想されます。その一方で、こうした患者は発見されにくいいため、流行がさらに拡大する可能性もあります(WHO GAR 2013-7-9)。なお、現在、サウジアラビアではラマダーンの巡礼が行われており、引き続き嚴重な警戒が必要です。

・東南アジアでデング熱の流行が拡大

東南アジア諸国は雨季を迎えており、各地でデング熱の患者が増加しています(WHO Western Pacific Region 2013-7-10)。ラオスでは今年になり患者数が1万6000人を越えており、この数は去年の10倍にあたります。シンガポールでも去年の6倍となる1万1000人の患者が確認されました。また、タイでも7万人と去年の3倍の患者が報告されています(CDC-Dengue Map 2013-7-18)。このように東南アジアでは各地で昨年を上回る患者数が報告されていますが、日本国内でも今年は7月20日までに103人の輸入症例が確認されました(<http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/dengue.htm>)。今後、東南アジアは暫く雨季が続くことから、患者数はさらに増加することが予想されます。

・中国で新たな鳥インフルエンザ H7N9 の患者が発生

中国の河北省で7月10日に鳥インフルエンザ H7N9 の患者が確認されました(WHO GAR 2013-7-20)。患者は61歳の男性で重篤な状態にあります。中国では5月以降、新たな患者がみられていません

したが、本症例はそれ以来の患者発生になります。現在、中国での流行は鎮静化している模様ですが、今後も警戒が必要です。なお、現在までの患者総数は 134 人となり、うち 43 人が死亡しました。

#### ・今年上半期のポリオ発生国

今年は 6 月までに全世界で 95 人のポリオ患者が確認されました(検疫所 HP 2013-7-9)。患者の発生国はパキスタン(18 人)、アフガニスタン(3 人)、ナイジェリア(26 人)、ソマリア(41 人)、ケニア(7 人)となっています。このうちソマリアは内戦下にあるため十分な対策をとることができず、今後も患者数が増加する可能性があります。なお、米国 CDC の報告では 7 月末までにソマリアのポリオ患者数は 72 人に増加しています(CDC Traveler's Health 2013-7-26)。ポリオ患者の発生国や隣国に滞在する際にはポリオワクチンの追加接種を検討しましょう。

#### ・台湾で狂犬病に感染した野生動物を確認

台湾は狂犬病が存在しない国とされてきましたが、今年 7 月に台東県でヒトを咬んだイタチアナグマが狂犬病に感染していることが判明しました(検疫所 HP 2013-7-24)。また、同国の南投県や雲林県でも狂犬病に感染した動物が発見されています(英国 NaTHNaC 2013-7-26)。台湾滞在中は動物に接触しないように注意するとともに、もし動物に咬まれた場合は、狂犬病予防のためワクチン接種を迅速に受ける必要があります。